

テーマ株

プレミア証券株式会社 後藤 正彰

○ 外部環境は不透明ながら、着実に業績を上げる可能性が高い会社を狙う！

北朝鮮問題、円高、トランプ大統領の数々の発言、外部環境が悪いなか20,000円台で膠着していた日経平均株価は8月最終週に、一時19,200円台まで下落した。そのような環境の中、決算発表で上方修正し、今後も業績が期待できると思われる会社を選んでみた。

| コード | 社名 | 市場 | 株価 | 業務内容・概況 |
|------|-----------------|------|---------|--|
| 4772 | デジタル アドベンチャー | JQ | 808円 | 韓流スターを中心とする所属アーティストの日本での活動をマネジメントする。イベント企画、ライツビジネスなど。2016年KNTVと合併、韓流ドラマなどの配信も。17年12月期第2四半期累計の経常損益（非連結）は1億6,300万円の黒字（前年同期連結は2,300万円の赤字）に浮上し、通期計画の2億4000万円に対する進捗率67.9%になっている。大型イベントでのグッズ販売等により、売上高および利益とも大幅に増加。防弾少年団等のツアーも順調。放送事業も利益を伸ばす。 |
| 3825 | リミックスポイント | 東証2部 | 1,320円 | 中古車査定システムの開発、販売が主力であったが、エネルギー管理システムから売電事業へ参入し、2013年以降は電力事業が主力。2014年中古分野では販売にも参入。仮想通貨決済サービス導入のビットポイントジャパンを2017年3月期より、期首に遡って子会社とする。通期の連結連結経常利益は従来予想の1億2,300万円から5億2,000万円（前期は600万円）と4.2倍に上方修正し、増益率は21倍から87倍に拡大し、2期ぶりに過去最高益を更新する見通し。 |
| 4112 | 保土谷化学 工業 | 東証1部 | 7,160円 | 化学メーカー。主に建材・医薬品分野向け機能性樹脂、ディスプレイ・家電向け機能性色素、過酸化水素をはじめとする基礎科学品が柱。売上げの約8割が国内。グローバル・ニッチ分野への注力を目標に掲げる。2018年3月期の第1四半期連結決算では、営業利益13億300万円（前年同期比6.9倍）、最終利益7億7,200万円（前年同期比11.2倍）と大幅伸びる。有機EL材料事業が好調。2018年3月期は従来見通しを据え置いているが、すでに通期計画の営業利益13億円に第1四半期で到達している。今後いつ上方修正がでてもおかしくない。 |
| 5801 | 古河電気工業 | 東証1部 | 5,820円 | 自動車や情報通信用途のケーブル、ワイヤーハーネス製造を行う国内大手。海外市場での拡販に向けて組織改革を進める。2018年3月期第1四半期（4-6月）の連結経常利益が前年同期比2.4倍の100億円に拡大する。半導体製造用テープや銅箔も伸長。 |
| 4922 | コーセー | 東証1部 | 14,000円 | 化粧品大手。2014年に米ブランド「タルト」買収。2015年以降をグローバル展開の強化フェーズに位置づける。2018年3月期第1四半期の連結経常利益は前年同期比39.7%増の129億円に拡大、上期も計画の192億円に対する進捗率が67.4%に達している。化粧品事業が前年を大幅に上回り、連結売上高に占める海外売上高の割合は23.4%となった。 |

（注）株価は2017年9月1日の終値です。

※次々回後藤テーマ株レポート発行日（概ね6週間後）にて上記銘柄の価格及び騰落率等を掲示致します！

テーマ株（7月20日発行レポート紹介銘柄）のパフォーマンス

| 銘柄コード | 銘柄名 | 7/20日(木) 終値 | 8/31日(木) 終値 | 騰落率 |
|-------|-----------------|-------------|-------------|--------|
| 2531 | 宝ホールディングス | 1,144円 | 1,066円 | -6.8% |
| 2502 | アサヒグループホールディングス | 4,435円 | 4,789円 | 8.0% |
| 2266 | 六甲バター | 2,623円 | 2,357円 | -10.1% |
| 2593 | 伊藤園 | 4,190円 | 4,050円 | -3.3% |
| 2267 | ヤクルト本社 | 7,950円 | 7,620円 | -4.2% |

■ご注意

本レポートは、作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートは当社が信頼できると判断した情報源から取得した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性・妥当性を保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行為の結果に対し責任を負うものではありません。本レポートの内容につきましては、お客様のご判断に基づきご利用いただき、投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行っていただくようお願いいたします。

■リスク等について

当社がご提供する金融商品取引および商品先物取引は、価格変動リスクや信用リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等があり、元本や収益を保証するものではありません。株価指数先物取引や商品先物取引、外国為替証拠金取引等のデリバティブ取引は、少ない資金で取引を行うことができ、多額の利益が生じることがある反面、預託した証拠金以上の損失が生じ、追加の証拠金が必要になる場合もございます。また、外国為替証拠金取引においては、証拠金が一定水準以下となった場合は、保有ポジションが自動的に強制決済されるロスカット制度が適用されます。

■手数料・証拠金等について

手数料は取扱商品、かつ、取引コース(オンライン・対面取引)によって異なります。株式取引は最高で約定代金の1.1880%となり、加えて信用取引であれば金利・貸株料・品貸料等がかかります。日経平均先物は最高で27,000円(片道・税込)、外国為替証拠金取引は2,000円(同)がかかります。商品先物取引は銘柄によって異なり、最高で10,000円(同)がかかります。証拠金については取扱商品によって、週次・半月毎に変動するほか、取引所の判断で臨時に見直されることもあります。最新の証拠金については、弊社のホームページをご参照ください。お取引の前に契約締結前交付書面及び取引約款等の内容を熟読していただき、リスクや仕組み等を充分ご理解のうえ、ご自身の責任とご判断でお取引ください。

【会社概要】

商号：プレミア証券株式会社
 所在地：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-39-5 水天宮北辰ビル9階
 連絡先：TEL:03-5652-3801 FAX:03-5652-3808
 登録番号：【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第162号
 許可取得：【商品先物取引業者】農林水産省指令26 食産第1371号
 経済産業省 平成26・06・06 省第12号
 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会

顧客相談窓口

プレミア証券株式会社 コンプライアンス部
 TEL:03-5652-3801 (受付 平日9:00~18:00)
 <金融商品取引に係るもの>
 証券・金融商品あっせん相談センター
 東京都中央区日本橋茅場町2-1-1
 TEL:0120-64-5005
 <商品先物取引に係るもの>
 日本商品先物取引協会 相談センター
 東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番7号 東京商品取引所ビル6階
 TEL:03-3664-6243
 URL: <https://www.nisshokyo.or.jp/index.html>



※当社の企業情報は、本店及びホームページで開示しております。